

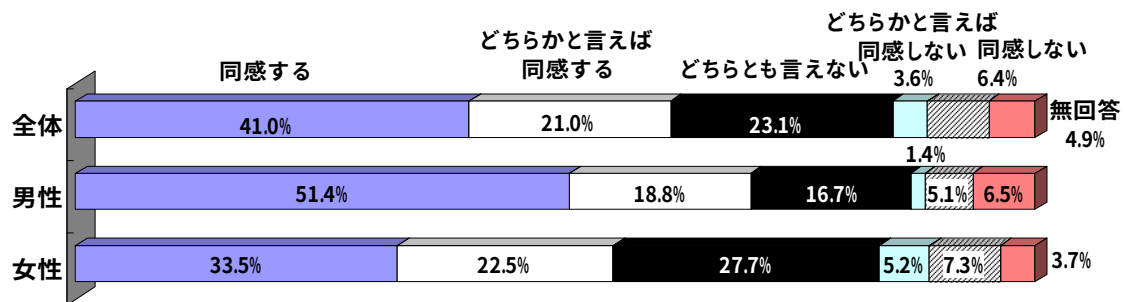
問6 子育てに関するさまざまな考え方があります。

あなたは下の項目についてどのように考えますか？

- (1) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てたほうがよい
- (2) 3歳くらいまでは母親が育てたほうがよい
- (3) 保育園や幼稚園の送り迎えやお弁当づくりは母親の役目である
- (4) 家事の手伝いは男女平等にさせるほうがよい

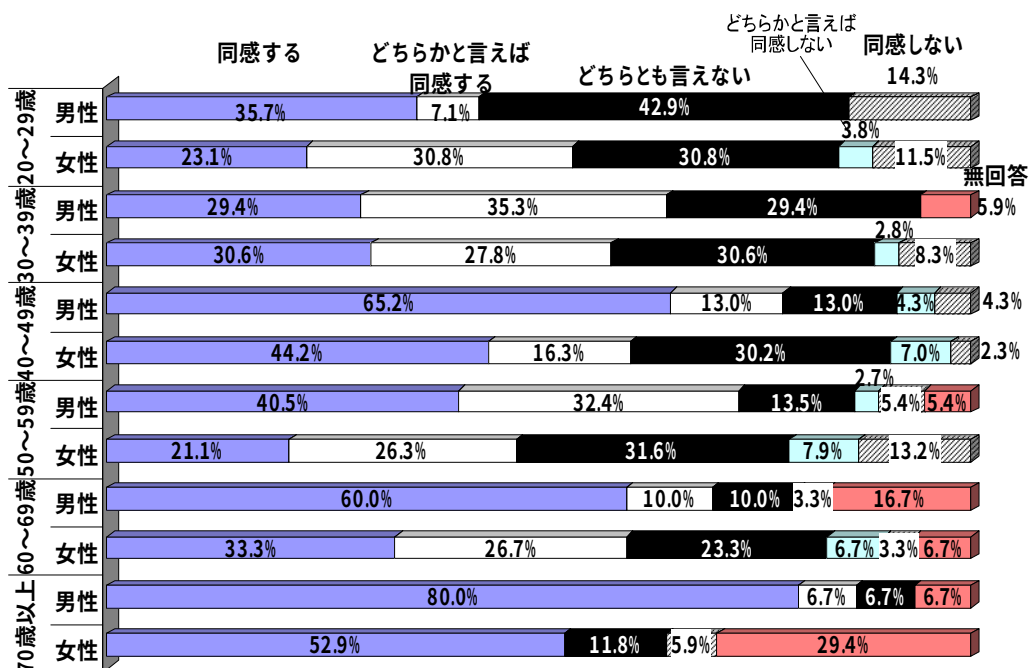
- ① 同感する ② どちらかと言えば同感する ③ どちらとも言えない
④ どちらかと言えば同感しない ⑤ 同感しない

(1)女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てたほうがよい



男女とも一番多いのは「同感する」ですが、女性 33.5%に対し男性は 51.4%と 2 人に 1 人が「同感する」回答しています。次に多いのは男性は「どちらかと言えば同感する」で 18.8%ですが、女性は「どちらとも言えない」27.7%で男女の意識の違いが見られます。

「同感しない」「どちらかと言えば同感しない」でも女性 12.5%に対し、男性は 6.5%で、男性の方が女性よりも「男の子／女の子らしさ」について肯定的です。



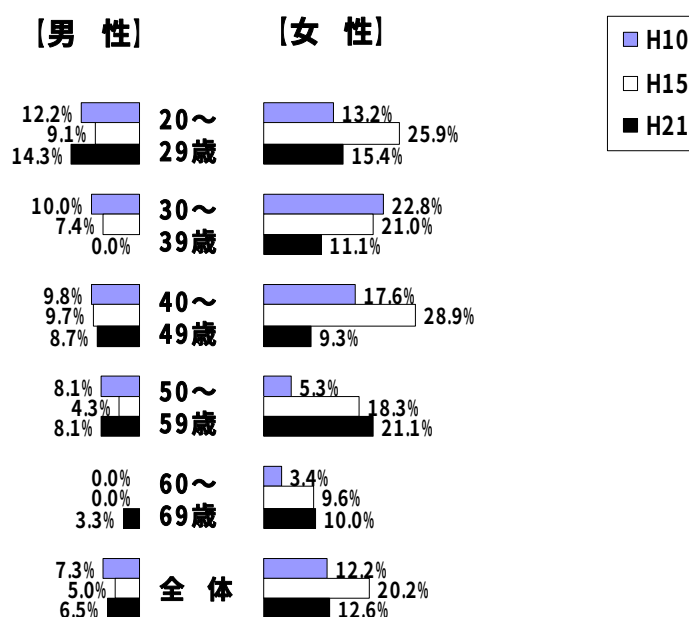
「同感」（①②合計）はほぼ全年代で男性の方が多く、一番少ないのは 20 代男性で 42.8%、一番多いのは 70 代男性の 86.7%です。20 代のみ女性の方が 53.9%で高くなっています。

一方「同感しない」（④⑤合計）はほぼ全年代で女性の方が多く、一番多いのは 50 代女性の 21.1%で、この年代の女性は「①同感する」も全年代の中で一番少なくなっています。

男女間の意識の差は 20 代ではあまりありませんが、40 代以上で大きくなっています。

【「同感しない」と回答した割合の比較】

※「同感しない」と「どちらかと言えば同感しない」の合計

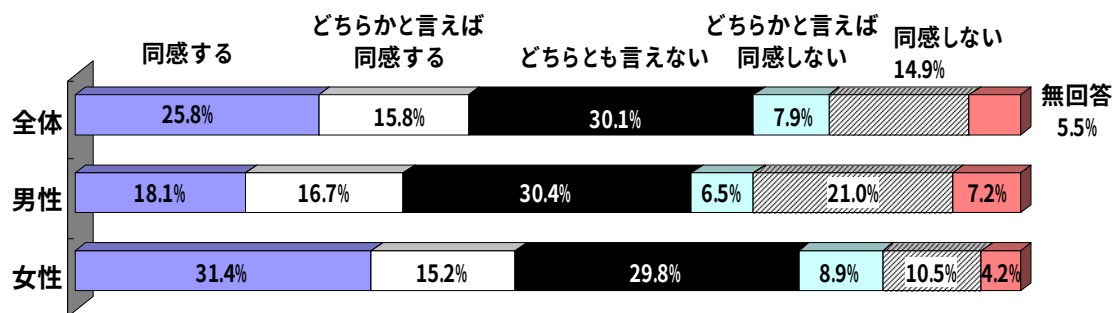


30、40 代は男女とも過去最低になりました。今回 30 代男性には「同感しない」と回答した人はいません。また 40 代女性は前は同感しない人の割合が女性の全年代の中で一番高かったのが、今回は女性の全年代の中で一番低くなりました。

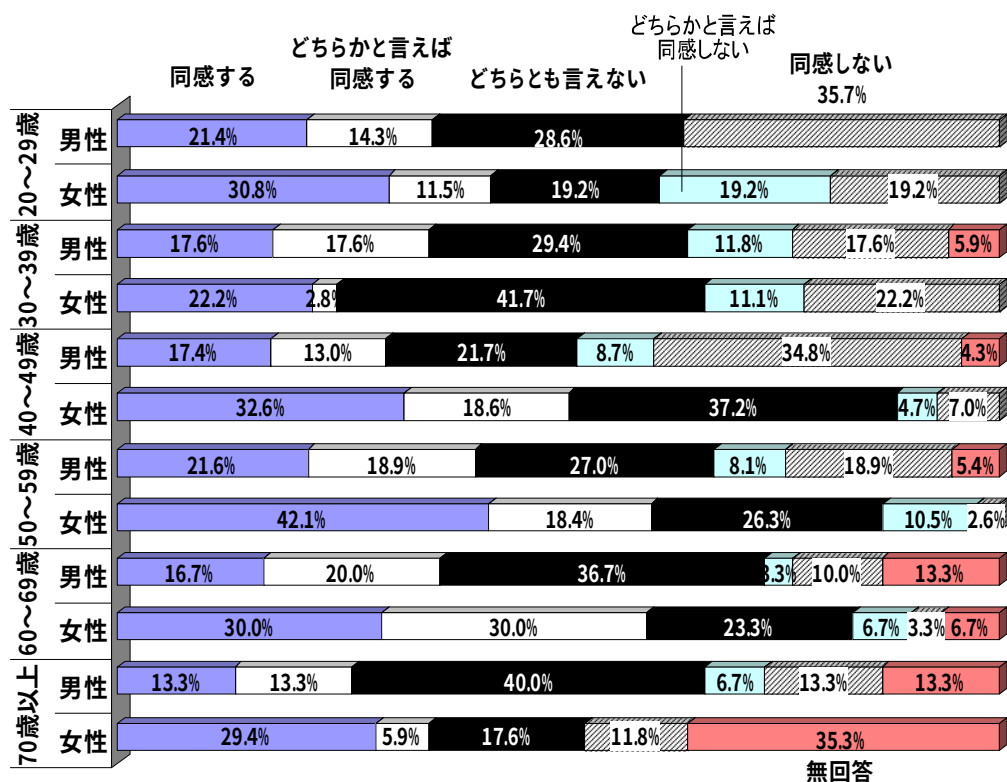
若い世代（20 代）は平成 10 年度調査時の割合とほぼ同じです（男性 14.3%、女性 15.4%）。20 代男性は、男性の全年代の中では一番割合が多くなっています。

50 歳以上では増加の傾向があり、特に 50 代女性は前々回調査では 5.3%だったのが今回は 21.1%と男女合わせた全年代の中で一番高く、5 人に 1 人が選択しています。

(2) 3歳くらいまでは母親が育てたほうがよい



「同意」(①②合計)と回答した女性が46.6%と男性34.8%に比べて多く、一方「同意しない」(④⑤合計)と回答した女性は19.4%は男性27.5%に比べて少なく、男女間の意識の違いが出ています。男性よりも女性の方が、女性による子育てについて肯定的です。

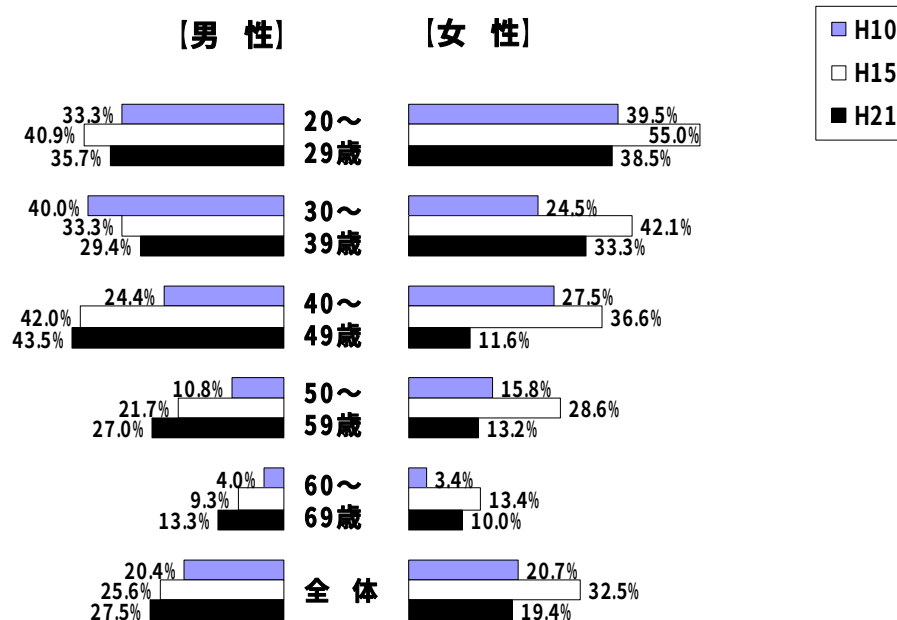


20,30代は男女の意識はほぼ同じです。40代になると差が開いてきます。

20,30代は「同意しない」(④⑤合計)が男女とも3割代ですが、女性は40代で11.7%に下がり、年代があがってもほぼ同値の低い数字で推移し、また「同意」(①②合計)も30代で25.0%なのが、40代で51.2%と倍に増え、この女性の意識の変化により男女間の意識にも差が出てきています。

【「同感しない」と回答した割合の比較】

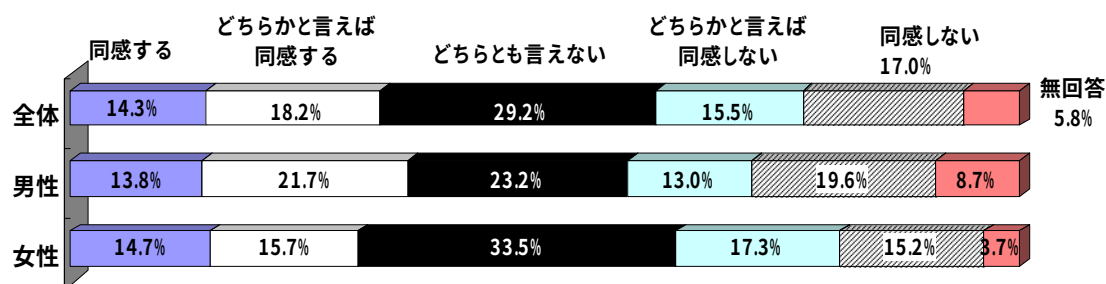
※「④同感しない」「⑤どちらかと言えば同感しない」の合計



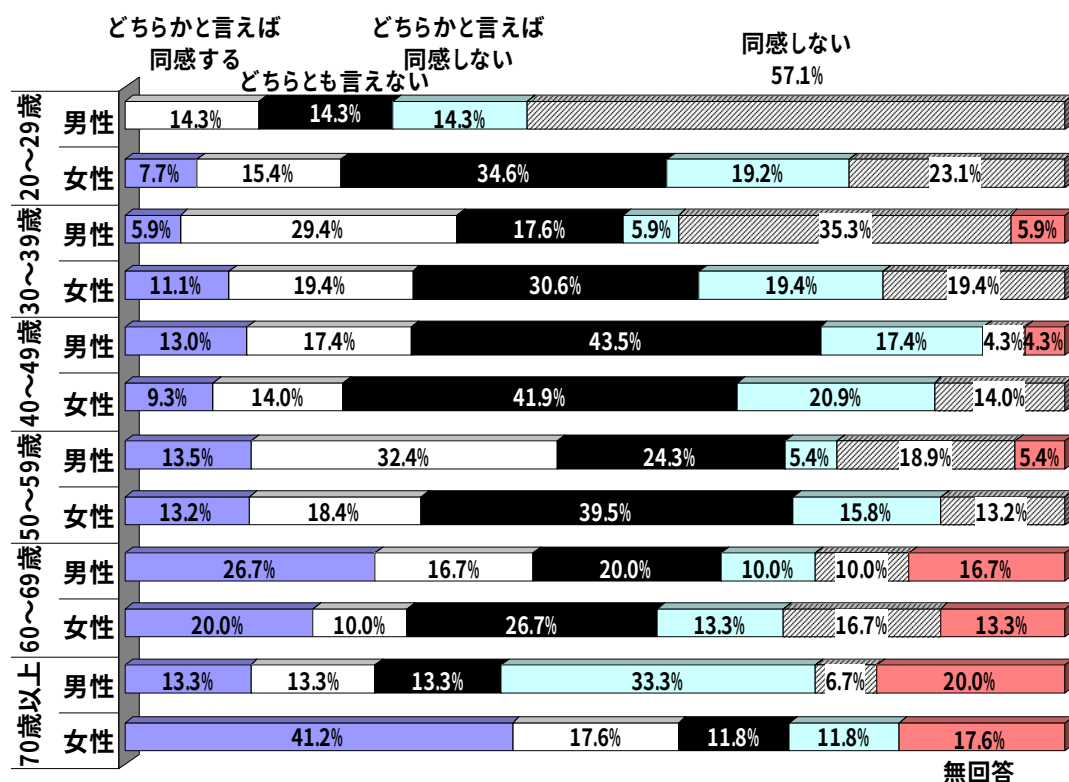
男性は40代以上は増加していますが、30代は減少し、また20代男性と女性の全年代では平成15年度調査であがったのが今回下がり、平成10年度調査の数値とほぼ同値になっています。

若い年代の数値が高く、年代が上がると低くなる傾向は変わりません。今回調査では、ほぼ全年代・性別で前回に比べて減少していますが、40代以上の男性のみ前々回調査から増加を続けています。

(3) 保育園や幼稚園の送り迎えやお弁当作りは母親の役目である



「同意」(①②合計)は男性 35.5%、女性 30.4%、「同意しない」(④⑤合計)は男性 32.6%、女性 32.5%といずれもほぼ同値です。男性の方が同意する割合がやや高くなっています。

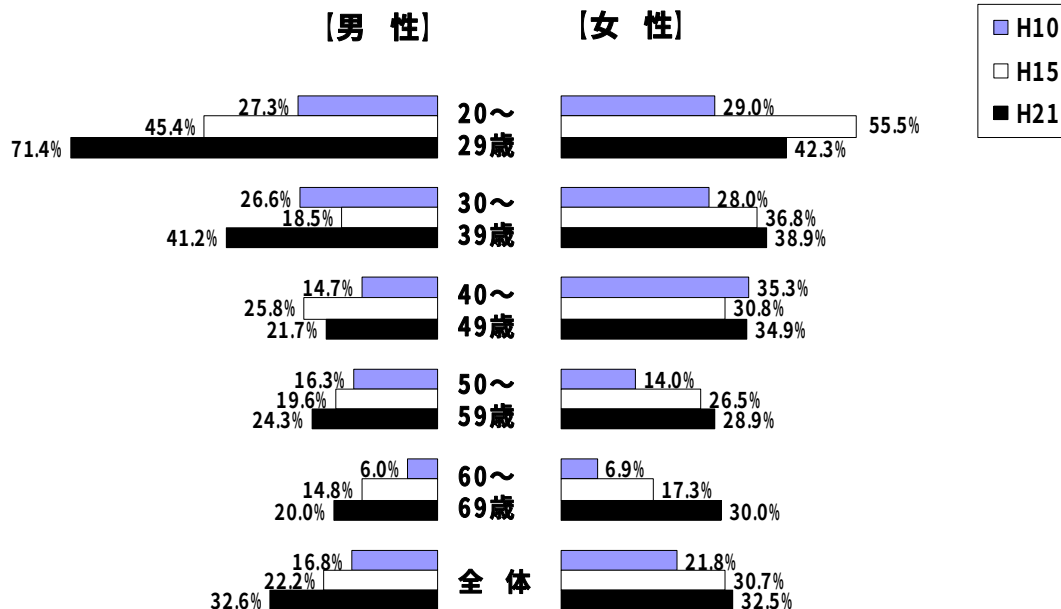


「同意しない」(④⑤合計)が一番多いのは 20 代男性の 71.4%で群を抜いて高く、次に 30 代男性の 41.2%、70 代男性の 40.0%が続きます。一方「同意」(①②合計)が一番多いのは 70 代女性で 58.8%で、次に 50 代男性の 45.9%が続きます。

男女の意識に差があるのは 20 代と 70 代で、多くの男性が「同意しない」と考える一方、女性は「同意する」と考えています。

【「同感しない」と回答した割合の比較】

※「同感しない」と「どちらかと言えば同感しない」の合計

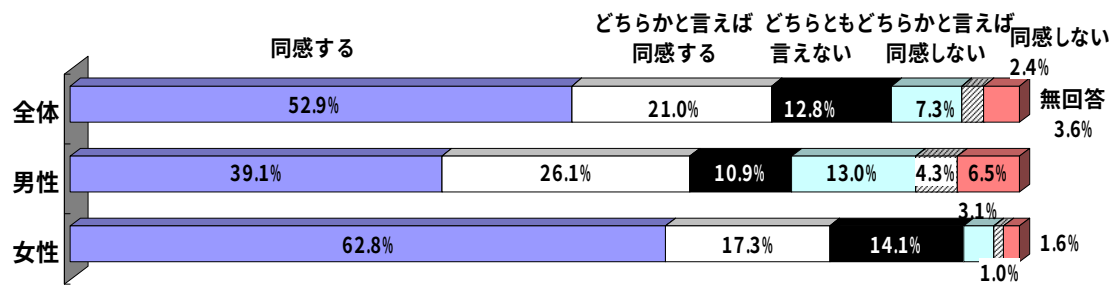


全体的に上がっており、特に男性の割合が大きく上がっています。平成 10 年度調査ではほとんどの年代で 10、20%台だったのが、今回は 20～40%代に上がっています。若い年代の数値が高いのは変わりません。

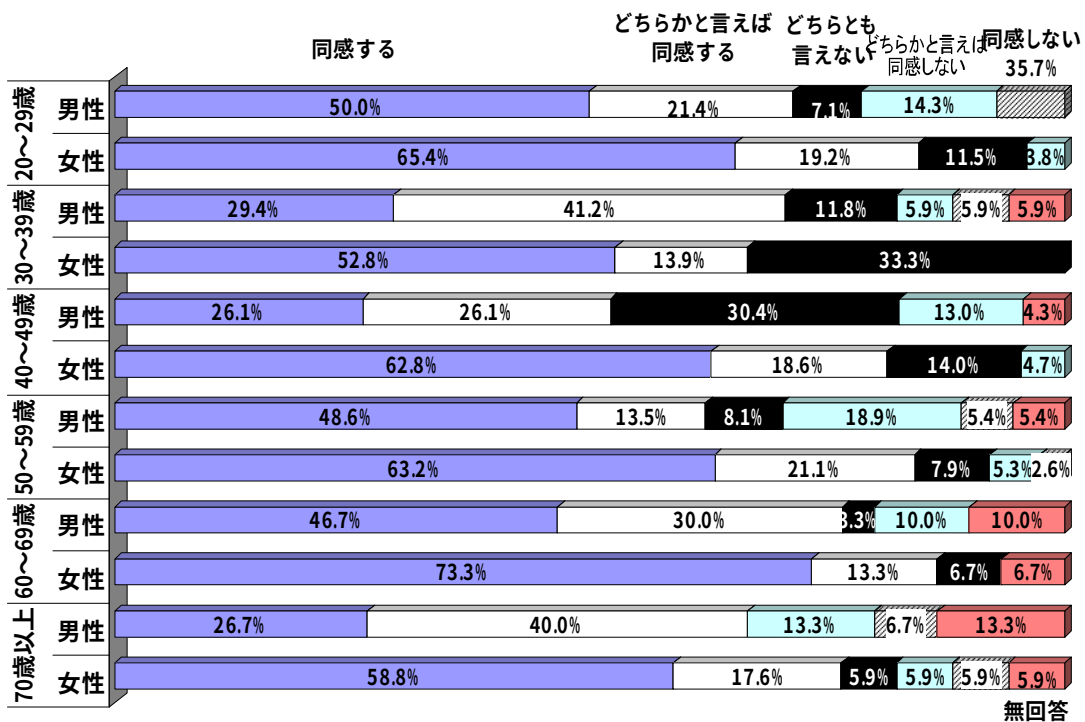
伸び方が顕著なのが 20 代男性で、平成 10 年度調査では 27.3%だったのが今回 71.4%になりました。また 70 代は、平成 10 年度には男女とも 6 %代だったのが、今回は 20.0%、30.0%に増え、他の年代との変わらなくなりました。

また、平成 15 年度調査まではすべての年代で女性の数値が高かったのですが、今回は 20、30 代で男性の数値が女性を上回っています。

(4) 家事の手伝いは男女平等にさせるほうがよい



「同感」(①②合計)と答えたのは女性が多く 80.1%で、男性の 65.2%を大きく上回っています。「同感しない」(④⑤合計)は男性の方が多く 17.3%で、女性の 4.1%を大きく上回っていて、女性が肯定しているほど男性は肯定していません。



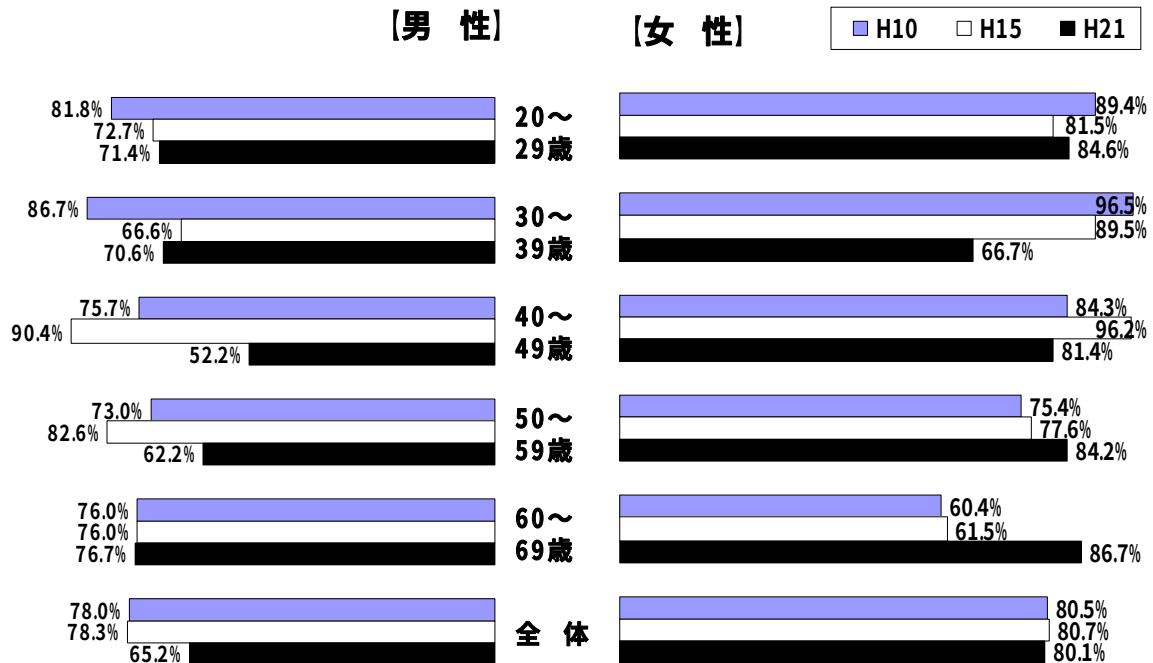
どの年代も「同感」(①②合計)が高い割合を示しています。

「同感しない」(④⑤合計)はどの年代も男性の方が高く、一方女性は30、60代は0%など、全世代で大変低くなっています。

男女の意識の差が大きいのが40代で、「同感」と感じる割合が女性81.4%に対して男性は52.2%と全年代・性別で一番低く、男女間で大きな差が開いています。

【「同感する」と回答した割合の比較】

※「同感する」「どちらかと言えば同感する」の合計



女性は40代までは減少傾向、50代以降は増加傾向にあります。特に、前2回の調査では他の年代に比べ低く60.4、61.5%と推移していた60代は、今回86.7%と大きく伸びました。一方30代は96.5%、89.5%と高い数字で推移していましたが、今回は66.7%と減少し、他の年代が8割台なのに対して大きな差が開きました。代わりに「どちらとも言えない」が増えています。

男性は減少又は横ばいです。ほとんどの年代で、平成10年度調査時の数字よりも下がり、特に30～50代の減少が目立ちます。